

2018年度

ホーチミンでの日本語教師ボランティア その2
(アパート周辺と通勤事情)



アパートのある新興住宅地区
手前にトタンの家屋

私の住むアパートはホーチミン7区（中心部から5～6 kmのところ）にあり、最近開発された新興住宅地区で比較的富裕な層が多く住み、豪華な住宅が多いです。数多くの高層マンションが建設中で、数年後には立派な住宅街になるものと思われます。豪華な建物の間にトタンで作られたみすぼらしい家々が点在する様子は貧富の拡大が社会的な問題であることも感じられます。

近くにオーストラリアベトナムのインターナショナルスクールがあり、朝晩には子供の送り迎いに車やバイクが多く行き交い、中には高級乗用車もあります。富裕層の子供たちが通っているのでしょう。



豪越インターナショナルスクール

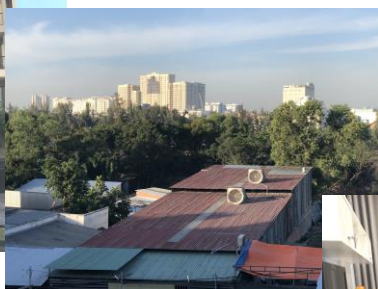
最近開発された地域のため、バス路線はまだ整備されておらず、最寄のバス停まで歩いて10分強かかりますが、近年中に私の住むアパートの近くまでバス路線ができると思います。

アパートは4階建で私の部屋は3階です。同じアパートの4階に同僚の日本人教師が住んでいます。20畳程のリビングとバストイレで、テレビ、電子レンジ、冷蔵庫、湯沸かしポット付です。

水曜日、土曜日に掃除をしてくれ、洗濯は地下においてある洗濯機を使い、屋上で干します。



私が住むアパート
車は少なく綺麗な
道路です



窓から見える景色
遠方に豪華な高層住宅、
アパートの裏通りはお粗末
なトタン住宅

少し狭い
キッチン



アパートの室内
広くはないですが綺麗です

一般的に都市部の勤労者は主に外食するため、アパートのキッチンは狭いところが多いです。職場の教職員の殆どの人は通勤途上に朝食を路上の売店で買い、自席で食べます。日本に比べ安く、弁当は100円程度で買えます。

ベトナム料理は昼食を学校で食べる以外、あまり食べません。朝食はスーパーで買ったパン、果物、牛乳等が多く、夕食にはご飯を炊き、パックの牛丼、親子丼、カレー等を電子レンジで加熱して食べたり、バス停からアパートに向かう途中にある日本食レストラン



大型スーパー “ロッセマート”

で食べることも多いです。

通勤で利用する最寄のバス停の近くに“ロッセマート”と言う大きな韓国系スーパーマーケットがあり、帰宅時によくそこで買い物をします。1階は食料品、2階は衣料品、雑貨で3階には映画館、ゲームセンター、レストラン等があります。

ホーチミンには日本人よりも韓国人の方が多く住んでいるように感じます。彼らは団体行動が多く、大きな声で威張り腐った口調で話しているのが直ぐに分かります。

通勤時間は約45分程で、アパートからバス停まで徒歩で15分、バスに20分、バス



バスの中から見た通勤時の様子

停から学校まで徒歩で10分です。バスは3つのバス程を通過するだけですが、橋があるため朝、夕の通勤時間帯での渋滞は凄まじく、時間がかかります。歩いた方が遥かに速いですが、多くのバイクが歩道に乗り上げ、徒歩での通勤は本当に危険です。

1月に入ると乾期で雨が降ることは少なくなります。日中は28~32℃で少し暑いですが、朝晩は涼しく、通勤途上、朝6時半頃歩いていると心地良いそよ風が

吹き、高原のリゾート地にいるように感じる

ことがあります。最近、日本の冬の寒さを避け、1~3月にホーチミンに滞在する人が多いと聞きますが、そのことは納得できます。ホーチミンは俗に言うリゾート地ではないですが、シティライフを楽しみながら、寒さを回避したい方には最適な場所だと思います。世界各国の店があり日本料理の店も多いです。それに物価が安く親日的な人が多いです。

アパートからバスで10分程、郊外方向に行くと、洒落た街並みがあります。最近できた地域で、道幅は広く歩道も整備され、バイクや車が少なくホーチミン中心部のような慌ただしさはありません。ベトナム人の富裕層や外国人が多く、レストランやカフェで本を読みながら、ゆったりとした時間を過ごすのに適した場所かと思います。近くに大型デパートがあり買い物も便利です。経済発展に伴い、今までのベトナムに対するイメージと異なる場所が、近年増えていることは確かです。



歩道沿いにレストランやカフェが並ぶ



車やバイクが少ない



川沿いに遊歩道があり、いい散歩コースです。